リモコン据付説明書

●コントロールパネルを別設置する場合

据付工事を行う前に必ずお読みになり、本書にしたがって工事をしてください。 1P285291-1D

室内ユニットの据付説明書もあわせてご覧ください。

据付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

● ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った据付けにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った据付けにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
また、この据付説明書は、取扱説明書とともにお客様で保管していただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する
据付けに不備があると、感電・火災などの原因になります。

移動・再設置は、自分でしない
据付けに不備があると、感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

据付工事は、この据付説明書にしたがって確実に行う
据付けに不備があると、感電・火災の原因になります。

設置工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する
指定部品を使用しないと、本機の落下・感電・火災の原因になります。

据付けは、本機の重さに十分耐える所に確実に行う
強度不足の場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程JEAC8001(最新のもの)」および据付説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する
電源回路不良や容量不足・施工不備があると、感電・火災などの原因になります。

据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う
電源を入れたまま電気部品に触れると感電の原因になります。

分解や改造・修理をしない
感電・火災の原因になります。

配線は、所定の電線を使い確実に接続し、端子接続部に電線の外力が加わらないよう確実に固定する
接続や固定が不完全な場合、端子部の発熱・火災の原因になります。

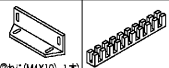
⚠注意

配線貫通部は、パテで養生する
水の浸入や虫の侵入により、漏電や故障の原因になることがあります。

ぬれた手で操作しない
感電の原因になることがあります。

本機を水洗いしない
感電や火災の原因になることがあります。

室内・室外ユニットおよび電源電線・連絡電線はテレビ・ラジオから1m以上離して設置する
映像の乱れや雑音を防止するためです。
(ただし電波状態によっては、1m以上離しても雑音が入る場合があります。)

次のような場所への設置は行わない
1. 鉱物油がたち込めたり、調理場など、油の飛散や蒸気の多い場所
樹脂部品が劣化し、部品の落下や破損の原因になることがあります。
2. 亜硫酸ガスなど腐食性ガスの発生する場所
腐食による故障の原因になることがあります。
3. 電磁波を発生する機械がある場所
制御系統に異常を生じ、正常な運転ができない原因になることがあります。
4. 可燃性ガスのもれるおそれのある場所、カーボン繊維や引火性粉塵の浮遊する場所、およびシンナー・ガソリンなど揮発性引火物を取り扱う場所
万一ガスがもれて、ユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。
5. 高温の場所や直接炎などが当たる場所
発熱・発火の原因になることがあります。
6. 湿気の多い場所、水のかかるおそれのある場所
水がリモコン内部に入ると感電のおそれがあるほか、内部の電子部品が故障する原因になることがあります。

リモコンサーモ機能を使用される場合は下記を考慮して据付場所を選定する
・部屋の平均的な温度が検知できるところ
・直射日光が当たらないところ
・近くに熱源がないところ
・ドアの開閉などによる外気の影響を受けないところ

付属品 次の付属品を確かめてください。(太線で囲まれた部品を使用します。)

名称	①据付用金具	③貫通部保護材	④ブッシュ	継手用断熱材	⑦当板	⑧クランプ材	⑨据付型紙
個数	1式 ※1	2個	1個	各1個	1個	5本	1枚
形状	(②ねじ(M4X10), 1本)			⑤ガス管用 ⑥液管用			梱包材兼用

名称	⑩防露材	⑪配線押え	⑫木ねじ(φ3.5×16)	⑬ねじ(M4×16)	(その他)
個数	1枚	1個	2本	2本	・据付説明書 ・保証書 ・取扱説明書 ・コントロールパネル取扱説明書(2枚) ※1据付用金具は本体(天板)にねじ止めされています
形状					

コントロールパネルを別設置する場合

●コントロールパネルを別設置する場合は、室内ユニットの据付説明書の
⑥ コントロールパネルをリモコンとして使用する場合・同時運転マルチの子機として使用する場合 を参照してください。

リモコン据付要領

※コントロールパネルを別設置した場合、以降リモコンと表記します。

1. リモコンの据付位置を決めてください。

据付位置は、左記の「安全上の注意」に基づき選定し、お客様の了解を得てください。

2. 壁面に配線貫通穴を開けてください。(後方引込みの場合のみ)

⚠注意
貫通穴が大きい、または、指定位置よりずれた場合、穴が露出するおそれがありますので注意してください。

3. 上ケースを外します。

下ケースの凹部に⊖ドライバを差し込んで、上ケースを外してください。(2ヵ所)

リモコン基板は、上ケースに付いています。
ドライバで基板を傷つけないように注意してください。

取り外した上ケースは基板上にゴミあるいは水分などが付着しないように注意してください。

4. 配線の引込み方向を決めて下ケースを次の要領で加工してください。

①後方引込みの場合

樹脂部(斜線部)を切り取ってください。

②左引込みの場合

ニッパなどで薄肉部(斜線部)を切り取った後、ヤスリなどでバリを取ってください。

③上方引込みの場合

ニッパなどで薄肉部(斜線部)を切り取った後、ヤスリなどでバリを取ってください。

④上方中央引込みの場合

ニッパなどで薄肉部(斜線部)を切り取った後、ヤスリなどでバリを取ってください。

5. 配線をします。

注意
1. リモコン取付用のスイッチボックスおよびリモコン配線は付属していません。
2. リモコン基板には直接手を触れないでください。

リモコン配線は下記仕様のものを使用してください。(現地調達)

配線種類	シース付ビニルコードまたはケーブル
配線太さ	0.75〜1.25㎟

リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。

シース部の皮むき目安は、
・上方引込みの場合で約150㎜
・上方中央引込みの場合で約200㎜

リモコン上ケースの端子(P/P1,N/P2)と室内ユニットの端子(N,P)とを接続してください。(N,Pの極性はありません。)

①配線後方引込みの場合

室内ユニット
NP
上ケース
下ケース
リモコン基板
クランプ材
配線固定部
断面 A－A
クランプ材(現地調達)で配線を配線固定部に固定してください。
<配線固定要領>

②配線左引込みの場合

③配線上方引込みの場合

④配線上方中央引込みの場合

注意
・配線は電気ノイズ(外来雑音)を受けないよう、動力線とは離してください。
・配線引込口は水の浸入・虫などの侵入防止のためパテ(現地調達)で確実にシールしてください。

6. 下ケースの固定要領

配線を上方中央引込みまたは後方引込みとする場合は、下ケースを固定する前に必ず上ケースへの配線を行ってください。

①壁面据付けの場合
付属の木ねじ⑫(2本)で固定してください。

②スイッチボックスに据付けの場合
付属のねじ⑬(2本)で固定してください。

注意
据付面はできるだけ平らな所をお選びください。
また、取付ねじの締めすぎにより下ケースが変形しないようにしてください。

7. 上ケースを元どおりに取り付けます。

● 上ケースを下ケースの爪(6ヵ所)に合わせ、はめ込み、取り付けてください。
● 配線のはさみ込みに注意して取り付けてください。
● 上ケースに貼り付けている保護シールをはがしてください。